

おはこざき通信

平成27年5月25日発行

【発行】

NPO 法人釜石東部漁協管内復興市民会議(通称:おはこざき市民会議)
〒026-0303 釜石市箱崎町 10-9
釜石東部漁業協同組合内

【おはこざき市民会議とは】

東部漁協管内の8地区(両石・根浜・箱崎・片岸・白浜・室浜・桑の浜・仮宿)の有志が連携して「100年先を見据えた安心安全な復興まちづくり」「持続可能な地域のまちづくり」を目的として設立されたNPO法人です。

わかめ収穫、塩蔵作業体験ツアー実施！

3/14(土)、おはこざき市民会議の理事をつとめている荒屋正明さんと植田有功さんがインストラクターとなって、わかめの収穫と塩蔵作業の体験ツアーを行いました。

インストラクターのお二人が驚くほどの天候に恵まれた中、箱崎漁港には市内だけでなく市外、県外から集まった方々とスタッフを合わせて20名集まりました。交代で養殖現場の見学と収穫、浜でわかめの部位ごとの仕分け・釜茹で・塩絡めを体験。その後、昼食にその日収穫したわかめを使った料理と三浦紘子さん(NPO理事)の「なごみ」で用意していただいた鱈汁とごはんを堪能。参加者の皆さんからは、初めて体験するひとつひとつの工程と作業後にいただく旬の素材を使った料理に感嘆の声が溢れていました。最後はお土産にわかめをプレゼント。参加者の中には、荒屋正明さんの奥様、澄子さんに調理の仕方をたずねる姿が見られました。

当日のツアーにはNHK「おぼんですいわて」の取材が来ており、3/16(月)に放映されました。今後もメディアに取り上げられるような魅力的な体験ツアーで、たくさんの人と交流できればと思います。

【参加者の声】

わかめがとても好きになりました。体験では見せない苦労も多いのだと思いますが、漁師さんの説明が丁寧で海への愛情を感じました。また参加したいです。(横浜・20代女性)

【荒屋正明さんの感想】

天候に恵まれた一日でした。
皆さん、事故なく笑顔で帰っていかれたことが嬉しかったです！



【植田有功さんの感想】

NHKの取材が来て、話がたくさん出来て、楽しかったです。
いつでも浜に寄ってくださいね！



【養殖現場の見学と収穫】



【釜茹で作業】



【採れたてのわかめと旬の食材を使った昼食】



市道箱崎半島線の工事状況視察を実施

私たちのNPOおはこぎき市民会議は、現在、市が工事を進めている「市道箱崎半島線」の工事状況について、市の建設課ご協力のもと、4/25(土)13:00～14:30に視察を行いました。「市道箱崎半島線」は、地域から半島部各地区の復興と今後の発展に寄与するものだと大きな関心が寄せられており、以前から具体的な工事状況を知りたいとの声が上がっていました。今回はその実現に至ったものです。

視察箇所は、恋の峠付近工事現場と根浜地区工事現場の2カ所。現場では工事に携わる株式会社青紀土木の方から説明を受けました。目の前の作業状況や今後の展開、地域の方々の関心の中心である工事の進捗について、参加者と意見が交わされました。どちらも現段階では道路の形を見て取ることは出来なかったものの、全体のスケール感に触れ、工事の壮大さを実感することとなりました。

視察終了後は、釜石東部漁協組合の事務所で意見交換会を行いました。今回の視察を通して、実際の現場を視ることで受けた印象や想いの変化などの実感を大切に、今後の工事の進捗に合わせて視察を実施したいという要望を出しました。

今後も市と協力しながら、視察を行えるように調整して参ります。今回参加できなかった方、興味を持たれた方は、是非次の視察の折にはご参加ください。

【恋の峠付近工事現場視察】



【根浜地区工事現場視察】



【釜石市建設課との意見交換会】



*****事務局新メンバーの紹介*****

はじめまして、4月よりおはこぎき市民会議の事務局員として働くことになりました池田静です。昨年9月より釜石で地域活性事業に携わっています。主に広報関連を担当し、イベントのご案内や活動の状況などを皆さんにお伝えできたらと思います。よろしくお願い致します。

